

瀬戸信用金庫が取り組む 地域企業への 海外ビジネス支援



「焼き物の街」として知られる愛知県瀬戸市。焼き物の代名詞といえる「せともの」は、「瀬戸の焼き物」が由来とされる。

日本の窯業は、生活スタイルの

信用金庫として初めてタイ王国のバンコクに海外駐在員事務所を開設したり、取引先の海外子会社に直接貸付を実施したりと、地域企業に対し積極的な海外ビジネス支援を繰り返す瀬戸信用金庫。本稿では、同金庫の海外ビジネス支援の考え方や様々な取り組み、今後の展開などをレポートする。

変化や安価な輸入品に押され、厳しい経営環境に置かれている。瀬戸市においても最盛期に比べ事業者の数は減少しているものの、今なお同地で窯業は盛んであり、主要な地場産業に変わりない。

「瀬戸焼」のブランドで生産されている焼き物は現在、食器や花瓶、茶器などが主流だが、長らく瀬戸市の窯業を牽引してきたのは、陶器製の人形や動物・鳥等の置物の輸出であった。職人の匠の

技が施された人形や置物は欧米諸国から高い評価を受け、瀬戸市を代表する産業だったのだ。

加えて名古屋中心部に近く、豊田市へのアクセスも良い瀬戸市周辺は、自動車関連産業が多い。周知のとおり、中小の製造業は親会社の要請や生産コスト引下げの必要性などがあり、近年急速に海外展開を進めている。

こうした地域性を持つ瀬戸市において、地元金融機関である瀬戸信用金庫は、従来から取引先への海外ビジネス支援に積極的に取り組んできた。信用金庫としては先陣といえる昭和59年に外国為替業務を、平成9年にコルレス業務をスタート。平成25年1月現在、海外コルレス提携銀行は世界60カ国、2011年に達する。

昨年1月には、取引先の海外ビ

バンコク駐在員事務所を設け 東南アジアの拠点として活用 資金調達ニーズの多様化に対応し取引先の海外子会社に融資

ジネスの支援態勢をさらに強化するため、証券国際部から国際業務部を独立させるとともに、国際業務部内に「海外業務支援グループ」を新設。同グループが現在、取引先の海外ビジネス支援の核となっている。

タイと中国にある取引先の海外子会社に融資を実行

瀬戸信用金庫が昨年、大きな注目を集めた。信用金庫として初めて、取引先の海外子会社への直接貸付を実施するとともに、タイ王国にバンコク駐在員事務所を開設したからである。

政府の積極的な後押しもあり、近年、信用金庫の取引先である中

小企業の海外進出意欲は大きく高まっている。昨年3月には、各財務局の認可を得た信用金庫に対して、取引先の海外子会社に対する融資等が解禁された。

瀬戸信用金庫では、先陣を切り昨年4月1日に東海財務局から海外子会社への直接貸付の認可を取得。同日には早速、タイ王国に進出した取引先の海外子会社に対して直接貸付を実行した。

「当金庫は『信用金庫のフロントランナー』としての役割を果たす」という考えを持っていきます。私どもの部署としても、常に新しい業務に挑戦して、フェイス・トゥ・フェイスによるきめ細かい支援に取り組んでいます。お取引先の間で海外進出が活発化している中、多様化する資金ニーズにお応えすることは我々の使命。バランスシートの上でも、子会社が資金調達をしたほうがつきりした形になるケースも少なくありません。そうしたことから、昨年、お取引先の海外の子会社に直接ご融資させていただき業務を開始したので

こう話すのは水野孝敏・国際業務部執行役員部長。国際畑を長く歩んできた海外ビジネスのスペシャリストである。

融資を実行した取引先の海外子会社は「アンスコ・タイランド」。自動車・工作機械などで使用する高精密螺^{ねじ}子を製造する(株)アンスコ(瀬戸市穴田町)の100%子会社だ。(株)アンスコは納入先のタイでの現地調達ニーズに対応するため、平成24年2月にタイに現地法人を設立した。タイでの受注増加に伴う運転資金を瀬戸信用金庫が融資したのである。

昨年10月には、取引先の中国にある海外子会社にも直接貸付を実行した。中国向けの海外直接貸付も、信用金庫としては第1号案件だ。

中国の現地法人「成田燃具(上海)有限公司」に運転資金を期間1年で融資した。同社は、産業用・家庭用機器などで使用されるファインセラミックスやセラミック燃焼バーナー、点火プラグ等を製造する(株)成田製陶所(瀬戸市道泉町)の100%子会社である。

融資実行の際に必要な現地の法制・税制・金融規制に基づく契約関係書類は、顧問契約先の日中協力法律事務所の監修を受けて作成した。

バンコク駐在員事務所 現地情報を収集・提供

取引先の海外子会社への直接貸付が解禁されたことに伴い、信用金庫の間で海外駐在員事務所開設の動きが広がっている。昨年8月13日、瀬戸信用金庫では、信用金庫として初めての海外駐在員事務所をタイ王国の首都バンコクに開設した。

「私どものお取引先は、すでに200社くらいが海外に拠点を持ち活動されています。その中で半数くらいが中国、タイは40社くらいです。タイをはじめ、今後新たに進出される企業も相当数が見込まれますので、お取引先への海外ビジネスの支援態勢を強化するため、タイに海外駐在員事務所を新設しました。当金庫では、バンコク駐在員事務所を『東南アジアの拠点』として位置づけ、お取引先



▶水野孝敏・国際業務部執行役員部長